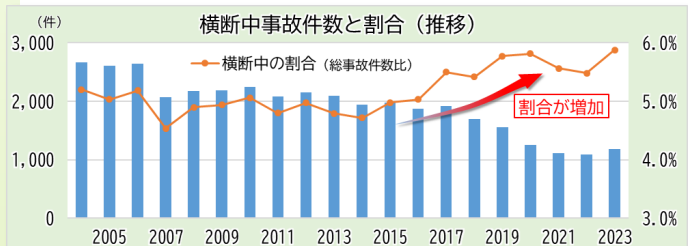


関係はある？...



横断中事故における 車道幅員 と 死亡事故率



(出典) 事故件数：2004～2023年の事故データより算出

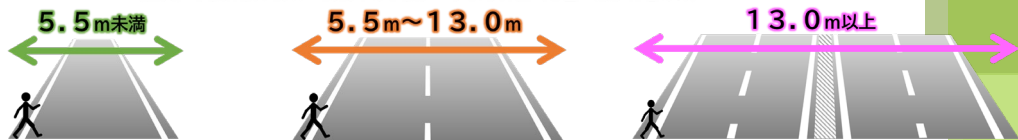
横断中の事故件数は、年々減少している一方で、全体に占める割合は緩やかに増加しています。

さて、この横断中の事故、横断すると言っても渡る車道の幅員は様々。一体どんな違いがあるのでしょうか。

結論 歩行者の道路横断 車道幅員が広いほど死亡事故に至る

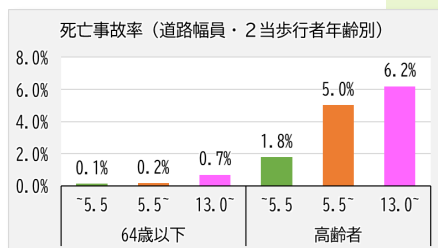
横断中における死亡事故率と車道幅員の関係（イメージ図）

(出典) 事故件数：2019～2023年の事故データより算出（2当一般歩行者のみ）



64歳以下	0.1% (1件/737件)	0.2% (4件/2,407件)	0.7% (5件/723件)
高齢者	1.8% (5件/278件)	5.0% (70件/1,389件)	6.2% (23件/371件)

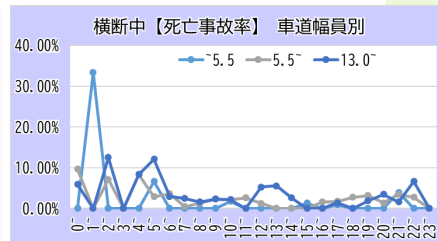
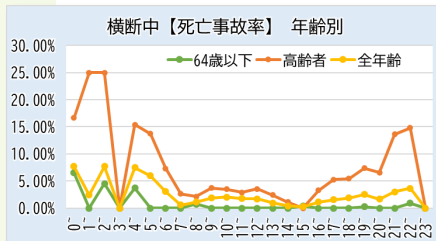
2019年から2023年までの5年間における事故データを基に、道路幅員を統計上分類可能な三つに、さらに2当歩行者年齢を二つに区分したところ、明確な違いが浮かび上がりました。横断中事故のうち死亡事故に至る割合（死亡事故率）は、歩行者の年齢区分にかかわらず、横断する車道の幅が広いほど高いという結果に。



特に高齢者は死亡事故に至る割合が高く、車道幅員が13.0mを超える場合では、実に16件に1件が死亡事故に至ります。

年齢区分	64歳以下			高齢者			全年齢					
	5.5	5.5~	13.0	5.5	5.5~	13.0	5.5	5.5~	13.0			
横断中事故件数	3,867	737	2,407	723	2,038	278	1,389	371	5,905	1,015	3,796	1,094
うち死亡事故件数	10	1	4	5	98	5	70	23	108	6	74	28
死亡事故率	0.3%	0.1%	0.2%	0.7%	4.8%	1.8%	5.0%	6.2%	1.8%	0.6%	1.9%	2.6%

また、横断中事故を発生時間で見ると、年齢別、車道幅員別共に夜間の死亡事故率が急上昇します。



(出典) 事故件数：2019～2023年の事故データより算出（2当一般歩行者のみ）

横断中事故には、横断歩道・横断歩道付近・歩道橋付近・その他の横断中を含む

これは、死亡事故に及ぶ要因の一つとして、ドライバーからの視認性が大きく関与しているためと考えられます。夜間の運転時はハイビームの活用、夜間出歩く際は明るい服装や反射素材の着用に心掛けることが大切です。